

## <金標準先物、FRB のハト派と逃避先の見直し需要・・・>



(出所：オアシス)

日銀金融政策決定会合では市場の思惑通りに現状維持となり、為替市場では円ドルの巻き戻しの動きに一時 130 円台を付けるなど円安の恩恵を受けた値動きを金標準先物は見せている。先週には小売売上高、PPI、鉱工業生産などの低下で、2月1日に開催されるFOMCにおける利上げ縮小の憶測を高めている。

特にブレイナード FRB 副議長は「十分に抑制的な金融政策をしばらく続ける必要があるだろう」と発言するなどタカ派の発言を行っているが、ウォラーFRB理事は「現時点においては次回FOMC会合では0.25%の利上げを支持する」、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁も「私の見解では今後は0.25%の利上げ幅が適切になるだろう」と発言するなど、インフレ抑制から景気後退緩和に向けた動きが予想されている。その事で金市場への逃避需要が増加し、行き場を失った流動性資金が流入する動きにNY金は年始から100ドル高を演じている。特に金融政策の違いを受けたドル安・ユーロ高は2月のFOMCとECB理事会に向けNY金を2000ドルへ押し上げる可能性が強く、金標準先物でも昨年6月に付けた高値8106円を狙った値動きが強まると思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが上昇しながらシグナルも上昇しており、RCIでも短期が上昇し、長期は上昇を継続するなどオシレーターは強気を維持しており、日足でも10日移動平均線が位置する7924円を上回るなど、高値追いの雰囲気を感じる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,920,000 円(2023 年 1 月 23 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2023 年 1 月 23 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>